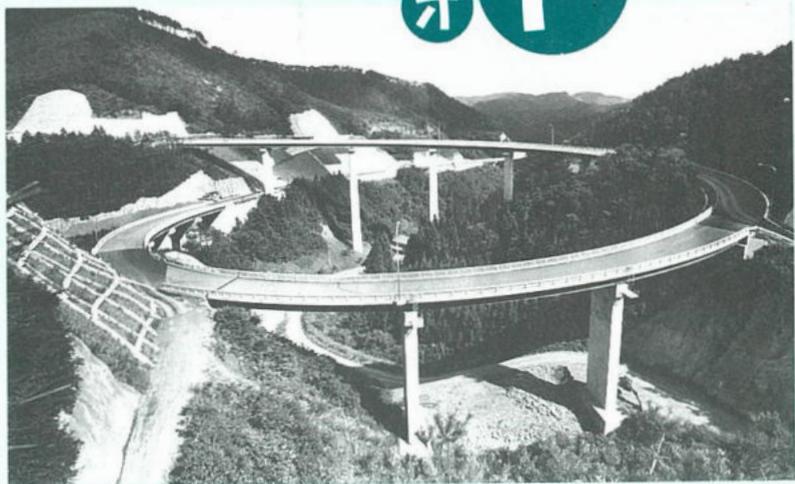


平成元年（1989年）県勢ビッグテン

順位	項目
1	八戸自動車道全線開通、国道343号坂下工区（ループ橋）開通、国道396号乙部バイパス完成、東北新幹線難工事推進事業岩手トンネル着手、花巻空港利用率アップなど高速交通関連施策が着実に進展
2	世界アルペン準備委員会発足、県民運動組織の'93世界アルペンいわて推進協議会の設立、リハーサル大会となる1990年の全日本選手権や1991年のワールドカップの開催も決定されるなど世界アルペンの準備が本格化。本県の国際化の母体となる県国際交流協会も発足し、世界アルペンを支援
3	さんりく・リアス・リゾート構想スタート、奥の細道三百年芭蕉祭で多彩な催しを展開するなど観光立県へ大きな弾み
4	県立花きセンター、ポニースクール岩手、県森林公園、ネイチャーセンターなど利用型施設のオープン相次ぐ
5	海洋バイオセンター・飼料コンビナート起工、トヨタ車陸揚げ開始、冷水魚養殖研究所設立など釜石地域の新たな活性化策展開。県内の企業誘致も前年を上回るハイペースで進む
6	県立宮古短期大学及び高度技術専門学院の施設整備順調に進む。県生涯学習推進本部設置、生涯学習推進県民のつどい開催など国際化・情報化・長寿社会に向け人材の育成・生きがいの創造を目指す
7	平成3年開催の全国健康福祉祭、4年の三陸海洋博覧会、5年の国民文化祭など大規模催事構想の具体化が進む
8	岩手シルバー洋上セミナーの実施決定、県リハビリ医療センター整備委員会発足、保健医療と福祉の連携を目指し県立紫波病院と大東病院リハビリ棟完成など社会福祉・高齢化社会対策が一層充実
9	盛岡サミットや宇宙フォーラムの開催、東北インテリジェントコスモス構想の推進など新しい国土軸の形成に向けた積極的な取り組みが展開される
10	北ノ又第二発電所しゅん工、入畑ダムたん水開始、鍋越ダム完工などエネルギー・水資源の有効活用と治水対策が進む

●特集 ■ いわて1989

県政フォト日記



7日間の昭和64年と358日間の平成元年を経て、まもなく1990年がやって来ます。

皆さんの日記にも、たくさんのお思い出が詰まっていることでしょう。県政もいろいろな出来事がありました。その一部を紹介します。皆さんの思い出と重なる部分も多いのではないのでしょうか。

- 1月7日 昭和天皇崩御
- 1月8日 平成元年スタート
- 1月12日 8道県・盛岡サミット開催、北の時代へ四全総を推進



四全総推進北海道東北地方知事会議  
21世紀における北海道東北地方の役割

盛岡市で北海道東北地方の8道県の知事が一堂に会し盛岡サミットが開催され、21世紀における北の地方の役割が語り合われた

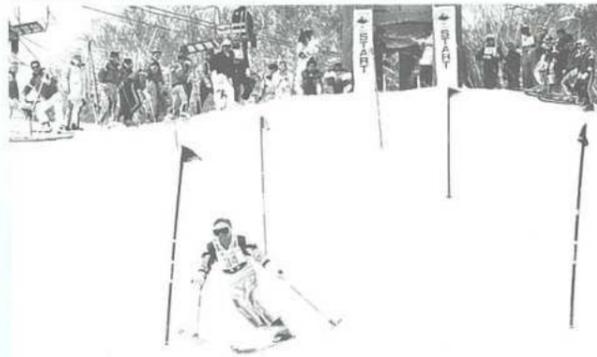
- 1月14日 「岩手青年の船」出港



新時代創造への進路をキャッチフレーズに、328人の若人が青年の船に集い、宮古を出港した

- 1月25日 民放テレビ第3局のキー局「フジ」に決定
- 1月26日 第四回全国健康福祉祭、平成3年に本県開催決定

- 2月24日 全国身体障害者スキー大会開催



網張スキー場で行われた全国身体障害者スキー大会。障害を乗り越え、各分野で活躍する217人の選手が銀世界に挑んだ

- 3月1日 釜石に冷水性高級魚養殖技術研究所が設立
- 3月11日 県立宮古短期大学の建設工事スタート



来年4月開校予定の県立宮古短大。情報化・国際化社会の幅広い視野を持った人材の育成を目指す

- 3月22日 県立紫波病院が移転落成



県立紫波病院が特別養護老人ホームとデイ・サービスセンターに隣接して移転落成。医療と福祉の連携のモデルケースとなる

- 3月25日 新日鉄釜石第一高炉休止
- 3月27日 県立大東病院リハビリ棟が完成
- 3月28日 大船渡港の5万トンバース完成
- 3月30日 さんりく・リアス・リゾート構想、国が承認



さんりく・リアス・リゾート構想がスタート。花の名を冠した7つの里を主体に、今後10年間で約1,600億円の事業費が見込まれる

- 4月2日 三陸鉄道開業5周年、3駅で記念行事
- 4月3日 紫波町の特別養護老人ホームとデイ・サービスセンターが事業開始
- 4月13日 宮古に老人保健施設が完成
- 4月14日 釜石の海洋バイオセンター起工式
- 4月24日 世界アルペン準備委員会が発足
- 4月29日 「みどりの日」にポニースクール岩手と野鳥観察の森ネイチャーセンターがオープン



開園日2,700人の人出でにぎわうポニースクール岩手(滝沢村)。子供たちに人気の引き馬に長い行列ができた



滝沢村砂込にオープンした県森林公園には、野鳥観察の森ネイチャーセンターも整備され、バードウォッチングなどで自然を満喫できる

- 5月11日 県立花きセンターがオープン



花き園芸振興と県民に花と親しむ機会を提供しようと金ヶ崎町にオープンした県立花きセンター。温室では熱帯性植物も楽しむことができる

- 5月13日 奥の細道三百年芭蕉祭が開幕
- 5月20日 全国選抜ゲートボール大会、盛岡で熱戦幕開け
- 5月24日 第三セクターの重度障害者雇用企業「クリーントピアいわて」設立

1989いわてグラフィックメモ



リーズ・イレインさん (1月号)

こたつの周りに友達や家族をいっぱいそろえて、一緒にテレビを見たり、話したり、お茶を飲んだりすると、体と精神が同時に温かくなります。



矢野 暢さん (2月号)

平成に変わり、日本は今、新しい次元に飛翔しなければならない。過去と決別し、未来に向けてたくましく踏み出すきっかけであるからだ。



鎌田喜二郎さん (3月号)

障害者はとかく消極的になるんですね。レベルの差はあるにしてもできない事はないはずですから、興味を抱いたら勇気を持って試しに取り組んでみてほしい。



水本 淳一さん (4月号)

青年の船では挫折をしながらも常に前向きな姿勢で生きることの大切さを教えられました。農業をやっている自分も改めて頑張ろうという気持ちになったんです。

19890808

特集

県政フォト日記

19890808

特集

県政フォト日記

5月26日 北部栽培漁業センターがウニ種苗初出荷



昨年種市町に開設した県北部栽培漁業センターが10万個のウニ種苗を初出荷した。育てる漁業のスターとして大きな期待が寄せられている

- 5月30日 脱鉄後最大事業「釜石銅料コンビナート」が起工
- 6月2日 滝沢村で「母と子の防火全国大会」開催、全国から3,900人
- 6月7日 大船渡の鷹生ダム、本格着工へ向け県の建設事務所開所式
- 6月9日 全国わさび生産者大会開催



本県初の全国わさび生産者大会が宮守村で行われた。品評会では200点のわさびが品質を競った

6月10日 県庁の土曜閉庁始まる

6月11日 世界アルペン開催決定1周年祭



昨年6月11日の世界アルペン盛岡・雫石開催決定から1年。雫石町で開かれた世界アルペンフェスティバルで喜びと決意を新たにした

- 6月30日 県立宮古短期大学の認可申請
- 7月4日 高度技術専門学院の第二期工事スタート
- 7月10日 平成4年度開催の三陸海洋博覧会の準備委員会が設立
- 7月16日 本県初の婦人生涯学習講座スタート
- 7月17日 「にっぽん丸」が大船渡に入港



ポートセールスの一環として誘致が実現した豪華客船にっぽん丸(9,772ト)。寄港地となった大船渡では盛大な歓迎セレモニーが行われた

- 8月8日 日教組の教研集会、盛岡で開催
- 8月9日 東北新幹線難工事推進事業岩手トンネル着手
- 8月22日 東北インテリジェントコスモス構想マスタープランを策定
- 8月23日 長寿学園セミナーが開講

菅原 ヨリさん (5月号)

ホームステイで外国人を受け入れる場合、言葉とか食事など問題もたくさんありますが、笑顔をお忘れずに心を込めてお話しすれば、必ずふれあいが生まれるんですね。



高橋 ノブさん (5月号)

周りの木や花の名前も分からないことが多いですね。まず身近なところから地域を見つめ直し、地元を誇れるようになることが大切だと思います。



8月25日 世界アルペンボランティア通訳養成講座が開講



盛岡市で世界アルペンボランティア通訳養成講座の開講式が行われた。世界各国の人々を温かく迎える前線で活躍できる人を養成する

- 8月30日 ソ連漁船が宮古に初寄港
- 9月1日 木材工芸センターがオープン



松尾村の県民の森に県内初の林業体験学習施設「木材工芸センター」がオープンした(木作業室で自然木のハンガー作りに挑戦する子供たち)

9月7日 八戸自動車道が全線開通



安代ジャンクション・一戸インターチェンジ間が開通し、八戸自動車道が全線開通した。県北地域が首都圏と直結し、地域振興の大きな力になるものと期待される

9月9日 国道396号乙部バイパスが開通



都南村と紫波町間の国道396号乙部バイパスが開通。盛岡市と釜石市など沿岸部を結ぶルート改良が一歩進む

- 9月11日 平成5年度開催の国民文化祭で基本構想検討委員会が初会合
- 9月17日 豊かな老後へアドバース、久慈で長寿健康福祉フェア
- 9月18日 県リハビリセンター整備委員会が初会合
- 9月21日 県生涯学習推進本部を設置
- 9月25日 世界アルペンのリハーサル大会、1990年の全日本選手権大会の実行委員会が発足

田村 一さん (6月号)

少年の船には障害のある人も乗っていたんですが、みんなが助けてあげて隔たりなく付き合っていたんです。感動しました。そして気が付いたんです。これは思いやりの心なんだって。



林 崎真奈美さん (7月号)

世界アルペンが決まったときは、みんなでヤッターと言って喜びました。これからは、少しでも雫石のPRができるように、いろんな事に協力していきたいと思っています。



- 10月7日 岩手中部広域水道の浄水場定礎式
- 10月12日 奥の細道三百年芭蕉祭が閉幕、平泉の観光客大幅増
- 10月16日 首都圏へ岩手のスキー場PR、クルーザー作戦の反応上々
- 10月18日 県国際交流協会が発足
- 10月18日 安代町の鍋越ダムが完工式
- 10月20日 トヨタ車が釜石港に初陸揚げ



釜石港の活性化を担いトヨタ車248台が初陸揚げ。着々と成果を上げる港湾振興の取り組み

10月20日 宇宙フォーラム'89 IN TOHOKU 開催



東北地方を宇宙開発の拠点にしようとする盛岡市で宇宙フォーラムが開催された。宇宙開発における東北地方の役割などが話し合われた

10月21日 北ノ又第二発電所しゅん工式



9番目の県営発電施設「北ノ又第二発電所」が松尾村に完成した。クリーンで低コストの水力発電は重要な発電方法の一つだ

10月21日 ヘリコピューター第二次実験運航開始



「ヘリシャトル岩手」と名付け、ヘリコピューターの第二次実験運航が行われた。5ルート8便で盛岡釜石間25分という速さの実用性を探る

10月24日 藤沢町の金越沢ダム定礎式

10月26日 国道343号坂下工区開通



陸前高田市の国道343号坂下工区が完成。県内初のループ橋などにより、沿岸と内陸が大きく近づく

10月27日 20回目の「知事と一緒に市場を視察する会」実施



京浜市場での岩手リンゴの動向を見ようと「知事と一緒に市場を視察する会」の一行が東京・大田市場を訪れた。市場の声を生産に生かし、市場関係者から高い評価を得ている

11月2日 未明にマグニチュード7.1東日本一帯に津波警報

11月2日 和賀の入畑ダムたん水開始

11月9日 生涯学習推進県民のつどいを開催

11月14日 県民運動組織の「'93世界アルペンいわて推進協議会」が設立



世界アルペン盛岡磐石大会を成功させようと「'93世界アルペンいわて推進協議会」が設立された。大会の準備・運営を支援する県民運動の推進を図る

11月18日 県道一関大東線措沢バイパスが開通

(そのほかの主な出来事)

- ・花巻空港大阪線が6月から10月まで午後の便もジェット化に
- ・定期高速バスの路線開設ラッシュ
- ・花巻空港が4～9月に過去最高の旅客記録
- ・企業誘致ハイペース、11月30日現在36社(前年同期29社)
- ・生涯学習体系への移行に向け本格的にスタート
- ・「福祉」から「生きがい」へ、県が明るい長寿社会づくり推進事業を実施
- ・岩手シルバー洋上セミナーの実施決定、来年1月大船渡出港
- ・1991年のアルペンスキーワールドカップの盛岡・磐石開催決定

ふじもと 藤本 勝さん  
(8月号)

岩手に来て、こんなに歓迎を受けるとは思っていませんでした。東京にいる私の知人もそうですが、岩手の人は本当に人情味がありますね。



たが 多田 正子さん  
(9月号)

少年の船で、県内各地の方と共同生活をしてみて、自分が勇気を持って心を開けば、相手も心を開いてくれ、お互いの将来の事や日ごろの悩みなど真剣に語り合えたのがよかったです。



くまがい 熊谷 享さん  
(10月号)

町のどこに行ってもシカとふれあえる、シカを見たいときは三陸町へどうぞと言え、そんな日が来るのを夢見て頑張っていきたいですね。



ふじむら 藤原 長作さん  
(11月号)

中国はまだ農業技術が遅れており、来年も指導に来てくれるよう中国政府から要請されています。健康が許す限り、あの広大な大地で思う存分米作りのお手伝いをしたいと思っています。

